

がまこおり 議会 だより

3月市議会定例会

一般質問…ここが論点……………	2～7
議決された主な議案……………	8～11
令和5年度一般会計予算370億7,600万円 議会日誌、5月臨時会予定等……………	12

NO. 119
2023.5



一般質問…ここが論点

詳しい質問項目と動画はこちらから



3月市議会定例会中、4人の議員が会派を代表して質問し、12人の議員が個人質問を行いました。その中から要約を掲載します。詳しい内容は市立図書館等で会議録をご覧ください。いずれも6月上旬に発行・掲載予定です。

日程	議員名	主な質問の項目
3月2日(木)	自由民主党蒲郡市議団 代表 青山 義明	機構改革 予算大綱
	蒲郡自由クラブ 代表 牧野 泰広	予算大綱
	蒲郡市政クラブ 代表 鎌田 篤司	市の防災 市の保健行政と市民病院 人にやさしいまちづくり 特色ある学校教育の充実
	公明党蒲郡市議団 代表 松本 昌成	中・長期的視点に立った財政運営 支えあい、安心と活力ある社会の構築 安心で安全な子育て・教育環境の整備 老朽水道管の整備 投票率向上に向けた取組 インボイス（適格請求書）制度の円滑導入に向けて
3月6日(月)	鈴木 基夫	財政の考え方 デジタルヘルスの考え方 地域インフラの維持と利便性向上 新事業に対する考え方と取組
	鈴木 将浩	ホームページ 地域通貨・地域ポイント 各種計画策定
	日恵野 佳代	乳幼児のママは睡眠や食事がおちついてとれず、産後うつ、育児ノイローゼの心配がある。支援の拡充を求める。 市民プールの再建と学校プール 2022年12月の三谷駅付近の老朽水道管の大規模な漏水事故から何を学ぶか
	大場 康議	水道行政
	藤田 裕喜	自殺対策 空き家を取りまく課題 市内小中学校の制服
	鈴木 貴晶	行政サービスのデジタル化の推進 池の水ぜんぶ抜く大作戦
3月8日(水)	新実 祥悟	市の将来人口 企業用地確保 三河港湾計画改訂 国道247号鹿島バイパス4車線化
	大須賀 林	一般廃棄物最終処分場の今後 技術職の確保
	尾崎 広道	西浦地区複合施設 第42回農林水産まつり&食育フェスタ 小中学校児童、生徒への挨拶、交通安全の指導
	竹内 滋泰	市の主なインフラ整備 市民病院の安定経営 地域公共交通網形成計画
	柴田 安彦	マイナンバーカード 議会との緊張感を保つこと
	大向 正義	市における愛知県事業の執行状況 市内の主な道路インフラ事業 国及び県に向けての要望活動 旧統一教会

*下線付の項目は質問と答弁の要旨を掲載しています。

問 令和5年度予算大綱について

答 現在の16件の助成を行い、市民から年齢や回数などの制限がないことなどの感謝の声がある。5年度以降も事業展開し、子どもを産み育てしやすいまちを目指して

問 未来の蒲郡を担う人材育成として特定不妊治療助成事業について伺う。

令和5年度予算大綱について

問 令和4年度の検証と5年度の市政運営の方向性を伺う。

答 蒲郡市民憲章を柱に据え、第五次総合計画を推進している。さらに5年度もゼロカーボンシティ推進室及び産業立地推進室を設置し、市民の暮らしを守る体制を整え、市民一体の市政運営を行う。

機構改革について



自民党市議団
代表
青山義明



蒲郡市民憲章

問 市民病院の安定経営として医師数及び看護師数について伺う。

答 医師数は大学医局との連携を強化し80名程度の確保を目指し、看護師数は283名体制の見込みである。内視鏡室や救急外来の拡張に向け、処遇改善を張り、教育体制の強化を図り優秀な人材の確保に努めていく。

問 新しい産業の創出として企業用地の選定について伺う。

答 市が把握している企業立地ニーズは15社程度であり、ニーズに応えるべく企業立地に適した土地を調査し、産業振興施策を進める。



自由クラブ
代表
牧野泰広

令和5年度予算大綱 について

問 高齢者の生きがいづくりとリカレント教育について伺う。

答 社会において役割があることや、長年培った能力や特技などを生かせる場を広げ、リカレント教育的な機会提供も展開の視野に入れ、高齢者の生きがいづくりにつなげていく。

した。今後も、市民の方、特に高齢者の方が、運転免許証を返納後も、安心して生活できる公共交通ネットワークの充実に努めていく。

問 サークーラーサイトの進捗状況を伺う。

答 4年度は、実装準備段階としてアクシヨンプランの策定、メルカリグループ等との官民連携に取り組んだ。

5年度は実装段階として実証実験、ビジネスマッチング、市民向けセミナーの開催、自治体版サステナビリティレポートを作成し、他の地域や事業者と共創することでサーキュラーシテイの推進を図っていく。

問 市民病院の安定経営として、MRI装置導入について伺う。

答 10月の実施開始を目指し、健康診断事業へのMRIによる全身がん検査のオプション導入を予定していく。

問 公共交通対策として、交通弱者の移動手段の確保について伺う。

答 蒲郡北部地区の清田町及び水竹町で5年3月から乗継タクシー事業の実証実験を開始



蒲郡市民病院



市政クラブ
代表
鎌田篤司

市の防災について

問 避難先及び避難行動と周知について伺う。

答 行政の避難所だけでなく、親戚及び知人家、ホテル及び旅館、自宅が避難先となる。防災訓練や出前講座を通じて啓発活動を行う。

市の保健行政と市民病院について

問 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行されるが、今後の医療体制を伺う。

答 診療体制は、医師会と協議し、連携を図り、市民が安心して医療機関を受診できる体制を確保していく。

人にやさしいまち づくりについて

問 住みやすい環境をつくる中で、公園施設の整備計画及びJRR大



JR 三河塩津駅

塚駅と三河塩津駅のエレベーター設置を伺う。

答 令和2年度に公園施設長寿命化計画を策定、3年度から計画的に更新を進めている。また、駅のバリアフリー化をJR東海と話し合った。エレベーター設置の課題を研究する。

特色ある学校教育の 充実について

問 市の郷土の歴史を学ぶことについて伺う。

答 西部小6年生は、地元の上ノ郷城跡や鶴殿家について調べ、リーフレットを作成した。博物館では、戦国時代の蒲郡を学べる企画展の開催と解説冊子の発行を考えている。



公明党市議団
代表
松本昌成

中長期的視点に 立った財政運営

問 財政需要を伺う。

答 第六次蒲郡市財政健全化改革チャレンジ計画の策定に取り組みしており、扶助費と公共施設等の整備費用が増加すると見込んでいる。

支えあい、安心と 活力ある社会の構築

問 若年がん患者在宅療養支援事業の導入について伺う。

答 現状は公的な支援制度がなく支援の必要性は認識しており、実施に向け検討していく。

問 自治体DXとして市民通報システムの構築及び検討状況を伺う。

答 LINEを入口とした市民通報システムの導入を進めていく。

安心して安全な子育て・ 教育環境の整備

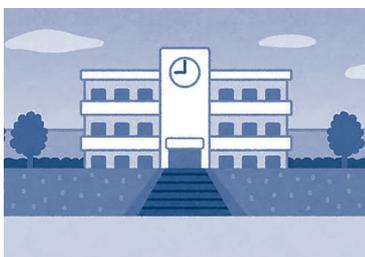
問 蒲郡市のインクルーシブ教育の方向性について伺う。

答 設置検討中の市立特別支援学校を中心に、インクルーシブ教育を推進し、子どもたちの個の状況に応じた、連続性のある多様な学びの場を創っていく。

老朽水道管の整備

問 今回の漏水事故を受け、今後の水道施設整備計画について伺う。

答 西部送水管、中央配水管の更新に加え、南山配水管を令和5年度から前倒しして実施する。全体事業費は10億円、期間は14年度までの10年間の見込み。





鈴木基夫
自由クラブ

デジタルヘルスの 考え方について

問 国の医療DX推進本部では、全国医療情報プラットフォームの議論が進められている。当市でも、蒲郡ヘルスケア計画に基づいていれば、令和5年度の国の補助金を活用し、PHRのプラットフォーム化等が推進できたのではないかと。

答 今後、ヘルスケア計画の事業推進の中で、国の補助金をはじめ、積極的に情報収集に努め、研究していきたい。

地域インフラの維持と 利便性向上について

問 市が率先的に二拠点生活に対して空家を貸与したり、誘客していくことは、まさに次世代のサーキュラーエコノミーの先進事例になると思う。市にはそ

うした考えはないのか。

答 本市は二地域居住としての立地条件を兼ね備えていると認識している。国は先導的な二地域居住推進の取組など効果的な施策の検討を行うとしている。市として積極的に活用できるように準備したい。

新事業に対する考え 方と取組について

問 メタバースやNFTについて、どのような取組を検討したか。

答 技術的な理解を深めるため研修会の開催や技術を体験するための展示イベント等へ参加した。今後も研究を重ね、コンテンツづくりや取組につなげたい。



鈴木将浩
自民党市議員

ホームページについて

問 探したい情報が見つけづらい等、適切な情報発信ができていない。ページの構成を見直すべきでないか。

答 より見やすく分かりやすいウェブサイトを運営するため、記事ID等の内容も含めてできることから継続的な見直しを図っていきたい。

地域通貨・ポイント について

問 地域通貨・地域ポイント導入に関する検討状況は。

答 様々な活動参加に対してポイント付与等ができる、汎用性の高いシステムの構築を考えている。

各種計画策定について



市ホームページ

問 計画策定の大半が委託だが、直近5年間で発生した費用は。

答 合計48本、約2億6000万円の費用がかかっている。

委託費削減や人材 育成、政策力向上の観 点から、職員作成の割 合を増やすべきでは。

答 コンサルタント等の支援は有益だが、行政のDX等の推進により創出される時間を活用し、より効率的・効果的になるよう努める。

問 直接関係する市民等から意見を聞く機会を設けるべきでないか。

答 パブリックコメントの周知方法を工夫する等、適切な対応を第一に考えていきたい。



日恵野佳代
無会派・
日本共産党

乳幼児のママへの 支援拡充について

問 乳幼児のママは睡眠や食事が落ち着いて取れず、産後うつ、育児ノイローゼの心配がある。支援の拡充を求める。

答 産後ケア事業は産後1年未満のお母さんたちを支援し、休養やリフレッシュ、相談などに対応する事業である。本事業の利用拡充のため、お試して使えるような無料クーポンを配布してはどうか。

問 国は、出産・子育て応援交付金を創設し、本市においても、妊娠応援ギフト及び子育て応援ギフトとして各5万円を給付している。こうした給付金の活用を案内していきたい。

市民プールの再建 について



問 市のアンケートでは、屋内プールの要望が大人でも子供でもトップ3に入っている。屋内型の市民プールを早急に建設すべきと思うが、市の考えはどうか。

答 施設整備について検討する際、市民ニーズの高さは考慮すべき重要な要素であるが、その他の要素も総合的に勘案して検討する必要があると考えている。現在「学校プールのあり方」について検討を進めており、策定後、その検討結果を踏まえ、公共施設マネジメント実施計画との整合を図りながら検討していきたい。



大場康議
自民党市議員

水道漏水事故の状況について

問 令和4年12月27日発生の水道管破損事故の被害状況と原因は。

答 三谷町、豊岡町、平田町の一部で断水及び濁水が発生、約2600件に影響した。事故原因は管の老朽化と長年にわたる車両荷重の蓄積が想定される。

蒲郡市水道ビジョンについて

問 各施設の経年化状況について伺う。

答 平成30年度では、建物及び構造物は99%が健全資産で問題ない状況である。機械設備は63%、電気施設は54%が健全資産となっており、約40%が法定耐用年数を超過しているが、適切な管理をし、長寿命化を図っている。管路は65%が健全資産



で、約35%が法定耐用年数を超過している。

問 施設の更新計画は。

答 配水池は、現在第1南山配水場の更新事業を、その後第1金平配水場を更新する。管路は令和5年度から西部送水管及び中央配水管に加え、南山配水管の更新も前倒しする。機械設備・電気設備は遠方監視設備の更新工事を実施している。

問 自然災害に対して被害の減災を考え、更新の目標値を再設定し、管路更新期間を短縮すべきでは。

答 現時点では、この目標値を着実に達成するよう進めていくことが重要であると考える。



藤田裕喜
自民党市議員

市内小中学校の制服について

問 小中学校の制服を廃止してもらいたいという意見がある。教育委員会はどのように考えているか。

答 制服を廃止してほしいという意見がある一方で、制服があった方がよいという意見も多くある。今後、制服の扱いについては、保護者や児童生徒、教職員の見解を踏まえ、慎重に対応していく必要があると考えている。

問 卒業生の制服等を在校生に譲る「制服リサイクル」を継続的に実施できるよう、教育委員会もしくは学校として運営する仕組み作りを検討できないか。

答 昨今のSNSの普及により、保護者同士のネットワークが広がり、上手に制服や体操



服が活用されている状況があると考えている。学校はもちろん、教育委員会が制服や体操服のリサイクル業務を行わなくても効果的な制服リサイクルが始められていると考えている。

問 制服をめぐる子ども達や保護者の考え、業者の立場もあり、なかなか難しい問題だと感じている。今後の方向性を伺う。

答 令和5年度に制服等の見直し検討委員会を立ち上げ、今後の方向性を決めていきたいと考えている。まずは各学校で保護者や子ども達の意見を聞き、関係機関も含め、丁寧に説明や対応を実施していく。



鈴木貴晶
自由クラブ

行政サービスのデジタル化の推進

問 LINE公式アカウントの導入について、本市の友だち数（登録者数）、東三河各市の導入状況、また、西三河の状況について伺う。

答 本市の2月24日現在の友だち数は2万9486人となっており、東三河では、田原市が2674人、新城市が7229人で、豊橋市と豊川市はアカウントを持っていない。西三河では、岡崎市が2万7613人、西尾市が10万1140人で、本市の友だち数は西三河を含めても比較的多い状況となっている。

池の水ぜんぶ抜く大作戦について

問 掻い掘りは、水辺の自然を守る優れた手法であるとともに、賑

わいの創出や、生き物を通じた教育にも寄与される。池の水ぜんぶ抜く大作戦の実施について、市の考えを伺う。

答 近隣では、テレビ番組の企画にて、岡崎城や西尾城のお堀で池の水ぜんぶ抜く大作戦を実施している。テレビ番組の企画となれば、シティセールスとしても活用できる。実現した場合は、多様なボランティアの手が必要になると思うが、多くの地元の子供たちを集めることで、地元への愛着をさらに深めることが期待できる。今後は、先進地の取組事例を参考に、事業の実施について検討していきたい。





新実祥悟
市政クラブ

市の将来人口について

問 社会保障・人口問題研究所の予測よりも人口減少が進んでいるのではないかと思うが市の考えは。

答 令和2年国勢調査による人口は7万9538人で、社会保障・人口問題研究所が公表していた将来推計人口予測から若干の改善傾向が見られた。だが長期的には減少傾向が続くと推測される。

問 人口増を目指し、地道な努力を続けることが必要と思うが、具体的な施策はあるか。

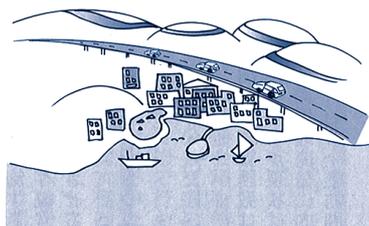
答 移住・定住の施策として移住フェアへの出展やセミナーの開催による知名度向上に努めるとともに、リアルな蒲郡市を体験する「移住体験ツアー」や蒲郡市内の企業で働きの

がら、地元で交流し、休日を通ぐす「がまごおりワーキングホリデー」等を行い、移住者の確保に積極的に努めている。

企業用地確保について

問 令和5年4月1日の機構改革において産業立地推進室が新設されるが、どのようなか。

答 産業立地推進室を新設し、専属の室長と担当を置くことで体制強化を図り、製造業に限らず、商業や農林水産業を含めた産業誘致や立地相談、産業用地の開発支援を専門的に取り扱い、産業立地に取り組んで行きたい。



大須賀 林
自民党市議員

一般廃棄物最終処分場の今後について

問 大塚町の最終処分場について、埋立て終了後の跡地利用をどのように考えているか。

答 現在、具体的に計画されていないが、廃止後、速やかに跡地利用を開始できるように、地域の意見を聞きながら、多くのの人に喜んでもらえる跡地利用を検討していきたい。

技術職の確保について

問 技師の採用実績を伺う。

答 直近の技師の採用状況は、令和3年度は、土木技師が募集2名に対して1名、建築技師が募集1名に対して0名であった。

4年度は、土木技師が募集2名に対して2名、建築技師が募集2

名に対して0名、電気技師が募集1名に対して1名となっている。

問 技術の継承には時間がかかる。いざという時のためにも、毎年少しでも多くの技師を採用していくことが重要と考える。今後の技師の確保に向けた取組について伺う。

答 高卒者を対象にした採用枠を設けたり、受験可能な年齢を引き上げる等の受験要件の緩和を図ってきた。また、民間企業を志望する人も受験しやすくなるよう、4年度よりSPI（民間企業が実施している総合適性検査）による採用試験も導入している。



尾崎広道
自由クラブ

西浦地区複合施設

問 体育館棟1階の多目的室、3連の会議室を利用可能な政治活動、宗教活動、企業の利用とはどのようなものか。

答 学校運営に支障がなく、社会教育法の目的にある住民の教養の向上、健康の増進などを逸脱しない範囲の活動は可能と考えている。

第42回農林水産まつり & 食育フェスタ

問 開催中、西ゲートが閉鎖されており、出展関係者から苦情の声があったが、2日目も改善されなかった。対応について伺う。

答 感染症対策として、西ゲートは搬入時、搬出時のみ開錠とし、出展関係者等には御理解いただいたと認識している。コロナ禍の開催

で不慣れな点もあった。改善が必要な部分については実行協議会で検討し、よりよい開催に向け努力していきたい。

児童生徒への挨拶、交通安全の指導

問 毎朝、さわやかに挨拶し、手を挙げて横断歩道を渡る子どもたちがいる。小中学校における挨拶や交通安全の指導について伺う。

答 挨拶については、地域の人たちにも挨拶をしようと呼びかけている学校が多いと把握している。交通安全指導については、例えば小学生には、手を挙げることを効果的であることなどを指導している。





竹内滋泰
市政クラブ

主なインフラ整備
について

問 蒲郡駅から三谷方面に向かう市役所前道路の舗装が傷んでいるが、補修の予定は。

答 道路の管理には、県管理と市管理がある。県道部分は、県から優先順位を考えたが、進めていると聞いており、市道部分は主要幹線道路の中で優先順位をつけ計画的に行っていく。

市民病院の安定経営
について

問 持続可能な地域医療提供体制を確保するため、経営強化プランの策定を進めていると思うがその進捗状況は。

答 これまでの経営改善に取り組んだ成果を評価・点検するとともに新棟建設計画を盛り込んだプランの骨子を作成し、東三河南部構

想区域地域医療構想推進委員会に提出し、協議した。今後、県の助言を貰い、より内容を充実させた計画策定を進めていく。

コミュニティバス
について

問 利用促進や利便性の改善を図りながら、さらなる拡充を図っていく必要があると考えるが今後の取組は。

答 地域に密着するコミュニティバスの認知度の向上、利用実績の確認や分析、利用者の声を反映した利用環境の改善、運行路線や停留所の見直しなどについて継続的な協議を進めていく。



コミュニティバス



柴田安彦
無党派

マイナンバーカード
について

問 本市での情報漏えいの状況を伺う。

答 令和元年に1件、誤って住民票を送付したため個人番号等が流出したことがある。

問 地方交付税は財源の不均衡を調整するシステムであり、マイナンバーカードの交付率を使って交付税を算定することは、趣旨に反すると考える。政府に反対の意思表示をすべきではないか。

答 マイナンバーカードの利活用には様々な経費が必要になり、その分を基準財政需要額に算入することは、普通交付税の考え方に沿っていると考ええる。ただし、現時点において、算定方法がはっきり示されていないため、その内容を見てか

ら検討していきたい。

問 カードの利用や健康保険証としての登録をしない人への対応について伺う。

答 国の検討段階であるが、カードを取得していない人や紛失した等で健康保険証の資格確認ができない方には、氏名、被保険者記号番号等が記載された「資格確認書」を発行するとしている。

問 利用者の意思を尊重し強引な誘導はやめるべきではないか。

答 カードの申請は任意であり、強引な誘導を行う考えはない。今後也希望する方に対しては、申請サポート等を行っていくたい。



大向正義
自民党市議団

市における県事業の
執行状況について

問 東三河建設事務所管内における予算配分の基本的な考え方について伺う。

答 東三河建設事務所では、本市、豊橋市、豊川市、田原市の道路、河川、砂防、海岸、港湾・漁港、下水道、公園、建築と都市の基盤となる施設の整備、維持管理といった多岐にわたる事業を実施している。これらのインフラ施設の整備や維持管理については、「あいち社会資本整備方針2025」などの計画に基づき、地区の状況を踏まえて投資効果を検討し、管内自治体のバランスも見ながら予算配分されている。

問 愛知県三河港務所における予算配分の基本的な考え方は。

答 三河港務所管内での投資効果を検討した上で、管内自治体のバランスも見ながら、優先順位を決めて予算配分をしていると聞いている。

旧統一教会について

問 市民の有志、東三河の市議会議員、信者、元信者約15名で構成する「東三河の旧統一教会を考える市民の会」に所属する旧統一教会元信者の方が市長への面談を要望したら、市長は受けるのか伺う。

答 本件に限らず、面談内容や趣旨、状況等をしっかりと把握した上で判断する。

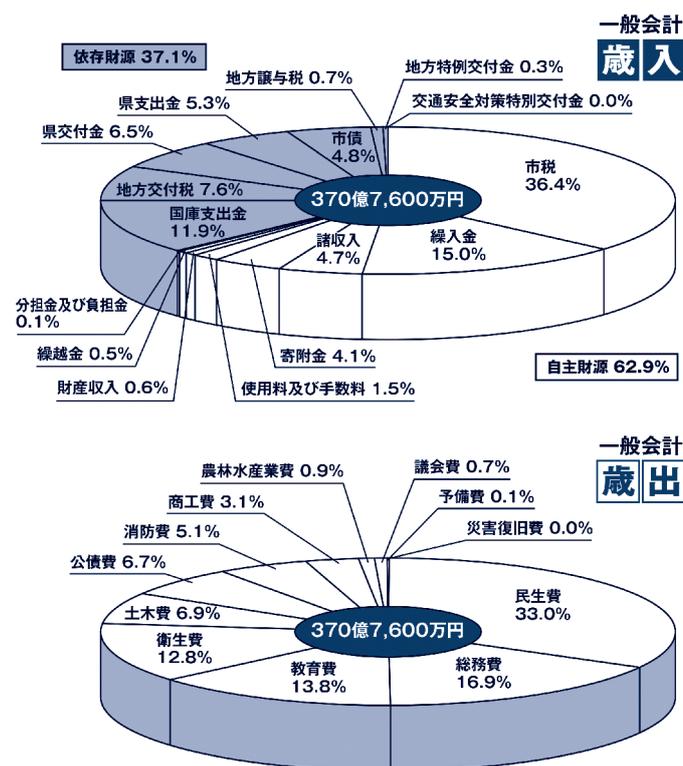


令和5年度一般会計予算などを 議決

3月定例会
議案

3月市議会定例会は、2月27日から3月23日までの25日間の会期で開き、議案41件を審議しました。

令和5年度一般会計予算など、その主な内容をお知らせします。



令和5年度予算

(単位：万円)

会計別	予算額	前年度比
一般会計	370億7,600	14.6%増
特別会計	国民健康保険事業	77億4,320 9.2%増
	後期高齢者医療事業	24億170 3.0%増
	土地区画整理事業	9億6,350 20.3%減
	公共用地対策事業	3億3,530 146.7%増
	三谷町財産区	3,720 25.0%減
	西浦町財産区	1,560 12.2%増
	小計	114億9,650 6.1%増
企業会計	水道事業	収益的 20億1,020 3.9%増 資本的 22億3,370 16.4%増
	下水道事業	収益的 25億6,400 10.8%増 資本的 32億3,430 2.6%増
	病院事業	収益的 104億4,300 6.0%増 資本的 19億30 45.1%増
	モーターボート競走事業	収益的 1,636億1,720 4.5%増 資本的 21億4,000 18.0%増
	小計	1,881億4,270 5.2%増
	合計	2,367億1,520 6.6%増

3月定例会

予算審査 特別委員会から

令和5年度一般会計予算など11会計予算は、2月27日の本会議で、予算審査特別委員会（委員長 大場康議、副委員長 大須賀林）を設置し、3月14日、15日、16日、17日の4日間にわたって慎重に審査し、全会計の予算を可決すべきものと決しました。

◎ 一般会計

■ 歳出

● 総務費

リーディングプロジェクト 基本構想等策定事業

問 事業費の内訳を伺う。
答 事業費の大半が構想等の策定に関する委託料で、令和4年度からの2か年で事業を進めている。

問 策定の進捗状況を伺う。
答 名古屋大学に外部有識者によるデザイン会議を設置いただき、コンセプトの検討や、市民参加のワークショップの運営などを行っ

ている。

問 地区個別計画を含めた施設面積縮減目標の達成について伺う。

答 リーディングプロジェクトについては、構想策定段階なので、具体的な施設面積は出ていない。地区利用型施設については、施設整備が具体的になってきた段階で面積を出していく。設計に着手している西浦では小中学校の集合により、大きな面積縮減が見込まれる。今後も施設の再編・更新の際は、部屋の共用や規模の適正化等により目標を達成していきたい。

● 衛生費

妊産婦等タクシー利用助成事業

問 妊産婦が外出時に利用できるタクシーチケットの金額上限を50000円に設定した根拠は。

答 できるだけ全ての妊産婦に利用してもらおう金額として、近隣自治体の金額を参考に検討した。利用しやすいよう、1枚5000円のチケットを10枚つづりとした。

■ 3月定例会の日程

《2月》	
27日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、予算大綱説明、議案説明、質疑、討論、採決など〕 予算審査特別委員会
《3月》	
2日	本会議〔一般質問〕 議会運営委員会理事会
6日	本会議〔一般質問、議会運営委員会委員の選任など〕
8日	本会議〔一般質問〕 議会運営委員会理事会 議会運営委員会
9日	総務委員会
10日	経済委員会
13日	文教委員会
14日	予算審査特別委員会理事会 議会運営委員会
15日	予算審査特別委員会
16日	予算審査特別委員会
17日	予算審査特別委員会
23日	本会議〔委員長報告、議案説明、質疑、討論、採決など〕

問 利用期限は。
答 母子手帳を交付後から出産予定日の2年後の月末までとなっている。

問 陣痛時に利用できる無料タクシーチケットは事前相談が必要だが、どのようにすればよいか。
答 あらかじめ子育て世代包括支援センター「うみのこ」に連絡し、タクシー会社を利用登録してもらおうことを考えている。安全安心に利用できるように、その方にあった利用方法について保健師が相談に応じる。

問 本市繊維産業を担っていく次世代を中心とした連携が継続され、時代に合った新たな繊維製品が継続的に生み出されるような活性化を図る。それにより、本市繊維産業が若者にとって魅力的な産業となり、新たな働き手を確保する好循環を創出することを期待している。その結果、繊維産業が引き続き本市を牽引する産業で在り続け、地域経済全体の活性化につながることを目指していきたい。

● 商工費

● 土木費

住環境整備促進補助事業

問 これまでの実績を伺う。
答 令和元年7月から開始



問 制度の変更箇所を伺う。
答 名称を三世代同居・近居住宅支援補助金として、要件の緩和と補助額の変更をした。要件の緩和は、三世代の年齢要件を廃止し、近居の範囲を蒲郡市内とした。補助額は、同居で新築及び購入の場合は20万円、リフォームは10万円、近居は5万円を上限とする。蒲郡市立地適正化計画の居住誘導区域内かつ18歳以下の子供をもつ子育て世帯を含む同居の場合は10万円、近居であれば、5万円を加算補助する。

問 この制度を利用する施

主や業者への周知方法は。
答 周知は広報がまごおり、ホームページ、チラシ及びダイレクトメールで行う。

● 教育費

放課後子ども教室推進事業

問 事業の概要を伺う。
答 放課後や週末等において地域住民の協力を得て、学習や体験、交流といった多種多様なプログラムを実施することで、子供たちの健やかな成長に役立つ遊びの場、体験・学びの場を作るといふ狙いのもと活動している。

問 令和4年度の事業実績を伺う。
答 南部小学校で11回、東部・竹島小学校で各10回、西浦小学校で16回、塩津・大塚小学校で試験的に各1回の全49回実施した。平日の授業終了後に加え、日曜や夏休みに、読書感想文やポスター教室が多く実施された。公民館や社会福祉協会の協力を得ながら、多くの地域の講師やサポーター、中学生ボランティアにも参加してもらっている。

問 今後の展開を伺う。



答 4年度の対象校6小学校から、5年度は8小学校にし、実施回数も増やしていきたい。

○ 水道事業会計

年度末給水栓数は、3万5044栓、1日平均給水量2万5355m³を予定しており、収益的収支は5310万円の赤字予算です。

○ 下水道事業会計

処理区域面積は1338ha、処理区域内人口は5万8139人、年間有収水量は593万m³を予定しており、収益的収支は9340万円の赤字予算です。

○ 病院事業会計

1日平均入院患者数を314人、外来は700人と見込み、収益的収支は8億5240万円の赤字予算です。収益的収入と資本的収

入で計17億円をモーターボート競走事業会計から繰り入れます。

○モーターボート競走事業会計

年間200日の開催を予定し、収益的収支は98億8280万円の黒字予算です。この会計から一般会計に2億7840万円、土地区画整理事業特別会計に6億8千万円、下水道事業会計に8億2千万円、病院事業会計に17億円を支出します。

条例の改正・制定

●個人番号の利用に関する条例の一部改正

(第12号議案)

外国籍の生活保護受給者に対して、個人番号を利用して保護事務の取扱いを行えるよう条例を改正します。

●文教委員会での主な質疑

問 外国籍者で生活保護を受給している数は。

答 令和5年2月中旬では、10世帯、16人です。

●本会議での主な論点

賛成 日本国籍の生活保護受給者と同様にオンライン資格確認制度の本格導入後は、

生活保護を受給している外国籍の人がマイナンバーカードを用いて医療にかかるためには、今回の改正が必要となる。

反対情報漏えいに対する不安が拭えないため、個人番号を利用するような取組には反対である。

●国民健康保険条例の一部改正

(第16号議案)

健康保険法施行令の改正に伴い、被保険者が令和5年4月1日以後に出産したとき支給する出産育児一時金の支給額を42万円から50万円に引き上げます。

●文教委員会での主な質疑

問 今回、出産一時金の支給額を引き上げる理由は。

答 厚生労働省の調査によると、出産費用は、ここ10年で平均1・4%増加しているとのこと、社会保障審議会において引き上げるべきとされたものです。

●市民病院薬剤師奨学金返済支援金貸与条例の制定

(第17号議案)

市民病院に令和5年4月

1日以後に採用された薬剤師であって、日本学生支援機構の奨学金等の返済義務を負う者に対し、その返済に要する費用を支援するための資金を貸与します。

1月当たりの貸与額は、奨学金の1月当たりの返済額から千円未満の端数を切り捨てた額とし、5万円を上限とします。貸与対象期間は、奨学金の返済が終了するまで又は貸与の契約に定められた月から7年を経

過するまでのいずれか早い月までとします。また、貸与対象期間に相当する間、継続して薬剤師として勤務したときは返済支援金の返還義務の全部を免除します。

●文教委員会での主な質疑

問 最近の薬剤師の採用状況は。

答 中途採用が、平成30年度、令和元年度及び3年度に1人ずつありましたが、新卒の採用は、平成29年4月が最後となっています。

■陳情

○庁舎内における職員への政党機関紙の勧誘・配達・集金を自粛するよう求める陳情

提出者 小林久尚、松下正夫

審査結果 聞きおこ

■3月定例会で議決された令和4年度補正予算

会計名 (補正号数)	補正の主な内容	補正額	補正後の 予算額
一般会計 (第7号)	ふるさと蒲郡応援寄附金事業費 1億3,670万円	8億1,258 万円	407億8,197 万円
	ふるさと蒲郡応援基金積立金 1億8,000万円		
	障害者自立支援給付費等国庫負担金等返還金 926万7千円		
	防災改修等支援事業費補助金 773万円		
	障害児通所サービス費 3,000万円		
	障害児入所給付費等国庫負担金等返還金 287万円		
	生活保護費等国庫負担金等返還金 1億3,005万1千円		
	農業者原油価格・物価高騰対策事業費 7,475万円		
	ため池改修等事業費 1,146万4千円		
	漁業者原油価格・物価高騰対策事業費 1,710万円		
	急傾斜地崩壊対策事業負担金 36万2千円		
道路補修事業費 6,050万円			
LED照明導入工事費 (中学校) 1億5,178万6千円			
一般会計 (第8号)	新型コロナウイルスワクチン接種事業費 5億3,900万円	5億3,900 万円	413億2,097 万円

議会日誌

12月15日から3月23日

12月

27日 議会運営委員会理事会

1月

31日 国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会

2月

2日 議会運営委員会理事会

16日 議会運営委員会理事会

20日 3月定例会招集告示

議案説明会

当初予算説明会

24日 議会運営委員会

27日～3月23日 3月定例会

3月

23日 議会だより編集委員会

議会運営委員会理事会

東三河広域連合議会

2月8日、9日に東三河広域連合議会2月定例会が豊橋市議会議事堂で行われました。今定例会では、令和5年度一般会計予算や条例案等計10議案を可決・同意しました。

また、一般質問では蒲郡市選出の日恵野佳代議員が東三河広域連合の取組について質問しました。

5月臨時会

5月市議会臨時会は、5月12日（金）に開会する予定です。

臨時会では、議案の審査

のほか、正副議長の選挙、新議員による各常任委員、議会運営委員の選任等が行われます。

詳しい日程は、5月1日（月）に開かれる予定の各派代表者会議で決まりますので、それ以降に議会事務局へお問い合わせください。なお、本会議の日程は、決まり次第、市議会のホームページに掲載します。

本会議の傍聴を希望される方は会議当日、市役所新館7階の議会事務局で手続きをしてください。

議会だよりは点字版、CD版も発行しています

点字版は、点訳グループ「あい」の皆さん、CD版は、音訳グループ「声」の

皆さんのご協力で発行されています。

また、議会だよりは蒲郡駅（観光交流センターナビテラス）、市民病院、市図書館にも設置してあります。

議会だよりをスマホへ配信します！

QRコードを読み込むか「マチイロ」で検索

無料です！



今月の表紙

拾石川の桜

市内では、3月下旬頃から各所で桜が咲き始め、拾石川では、今年も川沿いの桜並木が満開となりました。穏やかな風と川のせせらぎに春の訪れを感じました。



こちら編集委員会
66-1169

新型コロナウイルス感染症も5月8日をもって、インフルエンザと同じ「5類」となります。ようやく以前のにぎわいを取り戻すことができるようになります。観光立市蒲郡にようやく春が訪れた思いがします。

さて、3月定例会においては、改選前の最後の議会となり、活発な議論が展開されました。

令和5年度予算は過去最大となる一般会計を始めとした各会計予算が可決されました。鈴木市長就任一期目の最終年度の予算がしっかり事業執行されるよう、見守ってまいります。

議会終了後に、議員親睦会よりトルコ・シリア地震救援金を日本赤十字社を通じておくることとしました。一刻も早い復旧を願うものです。

